

記載例

別記様式第1号（第6条関係）
（その1）

①
令和〇〇年〇月〇日

御嵩町長 宛

②
申請者 団体の本拠地 御嵩町〇〇〇〇
団体の名称 みたけ〇〇の会
代表者名 御嵩 太郎 印
電話（ 0574 - 67 - 〇×△■ ）

③
令和4年度

地域づくり活動助成金交付申請書

次のとおり助成金の交付を受けたいので、御嵩町地域づくり活動助成金交付事業実施要綱第6条の規定により関係書類を添えて申請します。

なお、御嵩町補助金交付規則第5条の2第1項各号の該当の有無について、必要に応じ岐阜県警察に対して照会することに同意します。

記

1 交付申請額 ④ 116,000 円 (希望額)
2 総事業費 ⑤ 216,000 円 (対象経費 ⑥ 175,000 円)

3 申請部門 ⑦ 1 立ち上げ部門 ② 活動部門 (2 年目)

4 団体の概要 ⑧

活動のテーマ
団体の人数	10 人 (名簿は別紙1)
活動を始めた時期 (予定)	令和 〇〇 年 × 月 △ 日 設立 (活動開始 〇 年 □ 月)
活動のテーマ 目的等

※ 添付書類 事業計画書、収支予算書、会則（無い場合は公開審査の日までに作成すること）
※ その他町長が必要と認める書類 総会資料

記載例

(その2)

5 事業計画書（活動の内容及び方針等）

9	事業期間	自 令和 〇〇年 4月 1日 至 令和 ××年 3月 31日
	① 活動の内容（予定スケジュール等）	月に2回、会員で集まり活動する。 6月、9月、12月の3回、講師の方を招き講演会をおこなう。
	② 将来の自立のための考え方や具体的方策	参加費を無料としていた講演会の有料化を検討し、運営費に充てる。
	③ 活動の輪の広がりのための考え方や具体的方策（他グループとの交流、会員等の増員策等）	町内で開催される宿の市や公民館祭りなどに出店し、活動のPRや募集をかけたります。
	④ 地域の活性化等に対する活動の効果及び意義等	講演会に参加し、話を聞くことで、地域づくりに対する意識と参加意欲の向上が期待できる。
	⑤ 活動を継続していくための考え方や具体的方策（助成金が受けられなかった場合等の対応）	助成金が受けられなかった場合は、参加費を〇〇〇円から〇〇〇円まで値上げをして、収益を得る。
⑥ その他申請に関しての特記事項（特にアピールしたい事項等）		

※ できる限り簡潔明瞭に記入してください。

記載例

(その3)

別紙1

代表者	氏名	御嵩 太郎			年齢	○ 歳
	住所	〒505-0000 御嵩町御嵩0000 Tel 0574-67-○×△■ E.mail.アドレス 0000@0000				
	勤務先・学校等	みたけ〇〇				
	勤務先住所	御嵩町0000				
メンバーの人数 <u>10</u> 名						
No.	氏名	年齢	住所	職業等		
1	御嵩 太郎	○	〒000-0000 御嵩町御嵩0000	〇〇		
2	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
3	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
4	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
5	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
6	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
7	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 御嵩町0000	〇〇		
8	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 多治見市0000	〇〇		
9	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 可児市0000	〇〇		
10	〇〇 〇〇	○	〒000-0000 可児市0000	〇〇		
11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 団体メンバーは5人以上で町内に在住、在学 又は在勤する者が半数を超えている必要があります。 </div>					
12						
13						
14						
15						

※ メンバーが15人を越えるときは別紙でも可

記載例

(その4)

収支予算書 (立ち上げ・活動部門)

(1) 収入の部

区 分	構成比	本年度予算額	前年度決算額	比 較	摘 要
①会費(個人負担)	12	25,000	30,000	△5,000	年会費 (2,500円×10人)
②助成金	53	116,000	53,000	+63,000	地域づくり活動助成 (活動部門)
③事業収入	12	25,000	3,000	+22,000	チケット売り上げ
④寄付金等	0	0	0	0	
⑤前年度繰越金	0	0	0	0	
⑥その他	23	50,000	0	+50,000	自己資金
合 計	100	216,000	86,000	+130,000	

(2) 支出の部

区 分	構成比	本年度予算額	前年度決算額	比 較	摘 要
①賃金	9	20,000 (20,000)	0	+20,000	イベント時専門スタッフ 賃金(20,000)
②報償費	25	55,000 (50,000)	30,000	+25,000	NPO 法人○○代表 (50,000) メンバー内講師報償(5,000)
③旅費・交通費	37	80,000 (75,000)	10,000	+70,000	イベント交通費 研修旅費
④印刷費	14	30,000 (30,000)	20,000	+10,000	チラシ印刷費
⑤消耗品費	5	10,000 (10,000)	16,000	△6,000	事務用品
⑥通信運搬費	0	0	0	0	
⑦使用料・賃借料	7	15,000 (15,000)	10,000	+5,000	イベント会場使用料
⑧原材料費	0	0	0	0	
⑨その他の経費	3	6,000 (0)	0	+6,000	イベント時専門スタッフ 昼食代
合 計 (助成対象経費)	100	216,000 (200,000)	86,000	+130,000	

※ 1件が10万円以上の経費はその内容のわかる見積書、カタログ、仕様書等を添付すること。